

携帯電話・公衆電話・固定電話。

企業に電話する際、最もふさわしいのはどれか。

電話とはいえ、一般的には3種類あります。

携帯電話・公衆電話・固定電話です。

用件があつて企業に電話をする際、この3つのうちの1つから連絡をするでしょう。

「どれでもいいだろう」と思いますが、それぞれにメリット・デメリットがあるため、確認が必要です。

●携帯電話

最も手軽に使われるのが、携帯電話でしょう。

場所を問わず、どこでも電話ができるのは、大きなメリットです。

携帯電話で十分と思いますが、注意点もあります。

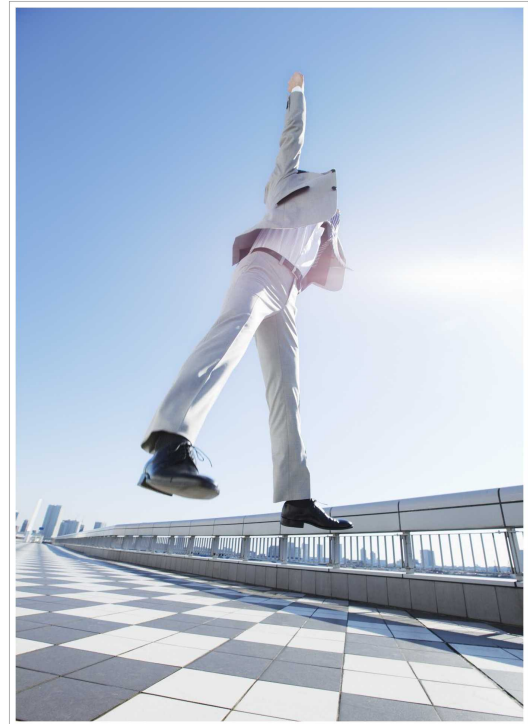
携帯電話は、電波状況によって、つながりにくかったり突然切れたりすることがあります。

急に電話が途切れれば、やはり印象がよいとは言えないでしょう。

携帯電話を利用する場合は、電波がよくて、静かな場所から電話をしましょう。

●公衆電話

公衆電話なら、電波の状況を気にする必要はありません。



ただし、公衆電話は、別の注意が必要です。

料金不足のため突然切れることがある点です。

また、公衆であるゆえに、公共の場に設置されているため、周囲の雑音が混じる場合があります。

電話中に、車やバイクの音が混じるのは、やはり印象がよいとは言えないでしょう。

公衆電話を使用する場合、料金と場所に注意が必要です。

●固定電話

固定電話の場合、電話できる場所が固定されているデメリットがあります。

ただし、自宅にいるときなら、さほど気になることはないでしょう。

電波状況に左右されず、料金不足で突然切れることはありません。

テレビを消して、窓やドアを閉めれば、周囲の雑音に悩まされることもないはずです。

自宅から企業に電話をする場合、携帯電話と固定電話で迷えば、固定電話のほうが安心です。

就職活動の電話対応で心がけるマナー その7

携帯電話・公衆電話・固定電話を、状況に応じて使い分ける。